

2003 年の活動報告

■2003 年 近畿ブロック雪崩講習会

近畿地方協議会 第 10 回 雪崩事故を防ぐための講習会

主催 日本勤労者山岳連盟

講習期間:2003 年 2 月 1 日(土)~2 日(日)

実技会場:木曾御岳周辺

理論講座:2002 年 12 月 1 日(日) 京都会場

2002 年 12 月 8 日(日) 大阪会場

参加費:30,000 円 理論講座の費用を含む。

(理論講座のみの受講の場合は、2,000 円+テキスト代)

募集人数:40 名

■2003 年 第 5 回 ハイキングリーダー学校 受講生募集

- ・目的 山行を自ら計画、実施し、会の運営に携われるリーダーを育成する。
- ・対象者 上記、目的に沿った人を、各会で推薦して下さい。
昨年参加された方の参加も出来ます。
- ・費用 3000 円(昨年参加者は、別途割引きます。)資料代 他、実費必要になります。
- ・日程

■第 24 回 近畿ブロック搬出講習会

・場所 百丈岩周辺 鎌倉茶屋前 (JR 道場駅下車)

1. ハイキング層向け

- ・日時 2003 年 4 月 6 日 AM9:00~PM2:00
- ・持ち物 山行時の装備一式、行動食
- ・内容 応急手当、搬出

2. 尾根、岩搬出

- ・日時 2003 年 4 月 6 日 AM7:00~PM2:00 (なるべく前夜泊で)
- ・持ち物 登攀用具一式、行動食、雨具、
出来れば切断可能なシュリンゲ、
ザイル、山行時の装備一式、行動食
- ・内容 応急手当、少人数搬出、引き上げ引き下ろしのセッティング、
尾根搬出、岩場での背負いでの引き上げ引き下ろし
- ・要件 自己の安全を確保のできる方。訓練中の怪我は自己責任となります。

■5 月 11 日 ハイカーのための搬出訓練

午前中に、消防署職員から応急手当の講習会を実施します。

講師、使用用具の関係で、40 名程度の定員となります。

氏名、性別、住所、生年月日の連絡が申し込みに必要なので、

必ず事前に連絡をお願いします。

- ・集合 榎原神宮駅中央出口 8:30
- ・AM9:00～12:00 応急手当講習会 榎原公苑本館
- ・PM1:00～ 畝傍山で、搬出講習会

■6月1日 第35回 クリーンハイク

自然を汚さない、痛めない、ゴミを捨てずに持ちかえる、そして自然について関心を持ち、ふるさとの自然を守り育てることを呼びかけています。ぜひ参加をして下さい。

参加要綱

- ・もちもの/弁当、水筒、タオル、雨具、帽子、
(軍手、金バサミ、ゴミ袋は主催者が用意します)
- ・服装/登山・ハイキングのできる服装
- ・参加費 100円 中学生以下無料。交通費各自
※事故の場合、応急処置はしますが、その後の責任は負いません。

2003年クリーンハイクコース

会場	コース	集合場所	集合時間
栃尾山 (健脚向き)	坪の内→栃尾山→栃尾辻→門前山→川合	近鉄榎原神宮前駅 東口	AM7:30
金剛山	御所コース：風の森→伏見峠→湧出岳→高天彦神社	近鉄御所駅	AM9:00
金剛山	五条コース：JR北宇智→近内→久留野峠→伏見峠→近内→JR北宇智	J R 北宇智駅	AM9:00
生駒山	近鉄生駒駅→滝寺公園→宝山寺→生駒山→縦走路	近鉄生駒駅南口 (三井住友銀行前)	AM9:00
龍王山	J R 柳本→長岳寺→龍王山→崇神天皇陵	J R 柳本駅	AM9:00
矢田丘陵A	J R 法隆寺駅→国見台→笹の辻→子どもの森	J R 法隆寺駅北口	AM9:00
矢田丘陵B	矢田東山バス停→少年自然の家→滝寺→子どもの森	近鉄郡山 バスタ - ミナル	AM10:00
柳生街道	高畑→白毫寺→高円山→地獄谷石窟→首切地蔵→破石	近鉄奈良駅 (噴水前)	AM9:00
業平ロマン街道	近鉄元山上口駅→千光寺→鳴川峠→十三峠→近鉄竜田川駅	近鉄元山上口駅 (近鉄生駒線)	AM8:30

■6月21日 第13回自然保護セミナー

危機に瀕した山岳環境 ―今、日本で、世界で何が起きているのか―

- ・場所 奈良県女性センター 近鉄奈良駅から東向商店街を南へ徒歩2分
- ・時間 13:00(会場)～16:00
- ・講師 河野 昭一(京都大学名誉教授)

プロフィール

1936 年北海道生まれ

1999 年 3 月京都大学理学部大学院理学研究科教授・京都大学総合博物館館長を
定年退官。

国際自然保護連合生態系保全委員会委員、日本生態学自然保護専門員会委員
1972 年以來「立山連峰の自然を守る会理事長」「富山雷鳥研究会運営委員長」など、
自然保護活動にも従事。

・主催 奈良県勤労者山岳連盟

■6 月 26～30 日 平和行進

6 月 26 日(木)12:00 般若寺で、引継ぎ 13 時出発、奈良県庁を経て 15 時に奈良市役所

6 月 27 日(金)9:00 奈良市役所 集合・出発 12:00 大和郡山市役所 13:00 出発
17:00 斑鳩町役場着

6 月 28 日(土)9:00 斑鳩町役場発 平群町役場 12:00 三郷町役場、王寺町役場

6 月 30 日(月) 大阪府柏原市役所で、引継ぎ

■7 月 5、6 日 大峰立ち枯れ調査山行

■8 月 16 日～17 日 チャレンジ委員会 立山山行

費用 約 25,000 円

定員 20 名(知的障害を持つ仲間を含みます。)

行程 8/16 奈良→室堂→一の越(小屋泊)

8/17 一の越→雄山→室堂→奈良

■8 月 26 日～9 月 5 日 トレッキング 南米ボリビアアンデス チチカカ湖(自主山行)

■9 月 7 日 岩の搬出訓練

・集合 AM8:10 京阪三条駅バス停

・場所 京都 金毘羅山(赤岩)

・ミーティング 9 月 2 日 PM7:30

■10 月 5 日 第 13 回 チャレンジハイク 観音峰(観音峰 展望台)

・参加費 大人(マイクロバス利用) 2500 円

中人 1750 円

マイカー利用 500 円

・出発 JR奈良駅 7:00 橿原神宮東口 8:00

蛇トンネル出口右手駐車場 9:30

■10 月 11、12 日 第 12 回 全国登山者自然保護集会

・日時 2003 年 10 月 11 日(土)12:30～12 日(日)11:45

・場所 京都タワーホテル 9F

- ・全日程参加 15,000 円(宿泊費、夕食交流会費含む。)
- ・日帰り 2 日間 ,1,500 円、1 日 1,000 円
- ・夕食交流会 6,000 円

■10 月 25、26 日 県連交流登山 石鎚山

- ・集合 7:30 郡山(三の丸会館出発)
- 25 日は、ロープウェイ下～成就社の旅館に宿泊します。
- 26 日は、成就社～鎖場～石鎚山～土小屋

◎定員 25 名

◎費用 20000 円

◎ミーティング 10 月 20 日(月)19:00～(県連事務所にて)

■第 11 回 近畿ブロック地方協議会 雪崩事故を防ぐための講習会



実施要項

- ・主催:日本勤労者山岳連盟近畿地方協議会
- ・講習期間:2004 年 1 月 31 日(土)～2 月 1 日(日)
- ・実技会場:木曾御岳周辺
- ・理論講座:2003 年 12 月 7 日(日) 京都会場
京都機関紙印刷センター
2003 年 12 月 14 日(日) 大阪会場
大阪府勤労者山岳連盟事務所
- ・参加費:30, 000 円 理論講座の費用を含む。
(理論講座のみの受講の場合は、2, 000 円+テキスト代)
- ・募集人数:40 名

第 11 回近畿ブロック地方協議会雪崩事故を防ぐための講習会予定表.pdf

第11回 近畿ブロック地方協議会 雪崩事故を防ぐための講習会

講習予定表

理論講座

大阪(受付10:00) 10:30~12:00 雪崩の理論 13:00~16:00 ビーコン操作の講習

京都(受付9:30) 10:00~12:00 ビーコン操作の講習 13:00~16:00 雪崩の理論

実技講習

月/日	時間	行動	行動内容及び注意事項
1/30	22:00 23:00	新大阪駅集合 京都駅八条口集合	
1/31	6:30 7:00 7:40 8:30 9:00	八海山荘(旅館) 入館・出発準備 開校式 出発 講習開始 雪崩判断と危険の認識 a 雪庇の観察 雪庇の崩壊テスト b 積雪内部の観察 c 弱層テスト 埋没体験と救出 a埋没体験 b救出法 救助活動とその指揮	コーチ紹介・班編制の発表 各班ごと * 必ずセルフビレーを行うこと 1 雪庇断面の切り出し 2 着色による断面観察 3 雪質分類 スキーテスト(荷重位置と崩壊予測) ハンドテスト・シャベルテスト・河野式等 * 埋込深さは、1mまでとする。 * 閉所、暗い所に弱い人は、無理に体験しなくて良い。埋没者が異常を訴えたときは、直ちに掘り出す。 1 雪の圧力(重さ)の認識 2 外部の(搜索)状況の確認 1 スカッフ・コール 応答の確認 2 ゾンデーレン(ゾンデによる探査) 人・地面・物を突いた時の感触の違いの認識 3 ビーコン操作 リーダーとしての指揮の取り方。

	<p>15:30</p> <p>16:00</p> <p>18:00</p> <p>21:00</p> <p>23:00</p>	<p>a救助者の処置</p> <p>b 埋没者の保護</p> <p>c 搬出</p> <p>終了</p> <p>入浴・夕食</p> <p>理解度テスト及び講座</p> <p>懇親会</p> <p>就寝</p>	<p>模擬救助を行う中で各自習得する。リーダーの下で確実な行動が取れるか。掘り出した埋没者に対する処置。</p> <p>指揮者・見張り(雪崩監視)</p> <p>ゾンデーレン(荒・精査)</p> <p>低体温症・凍傷・防寒</p> <p>保温(保温部位)緩衝(断マット・エアーマット)梱包(ザイル担架・シート担架)牽引・確保(ザイル)</p> <p>講師:新田先生(信州大学教授)</p>
2/1	<p>7:00</p> <p>8:30</p> <p>11:00</p> <p>12:00</p> <p>13:00</p> <p>14:00</p>	<p>朝食</p> <p>出発</p> <p>雪崩を予測した行動</p> <p>講習会終了</p> <p>旅館にて昼食</p> <p>閉会式</p> <p>解散</p>	<p>前日の総合的補足</p> <p>昼食を終えた物からバスに荷物を積込む</p>